

翻訳アプリの上手な使い方

翻訳アプリは、スマートフォンのアプリケーションの1つで、文字や音声による入力、多言語に翻訳できるサービスです。日本語から外国語だけでなく、外国語から日本語への翻訳もできるので、外国人とのコミュニケーションツールとして利用されており、無料で利用できるものが多いです。

第2回地域共生コミュニティ会議では、「VoiceTra（ボイストラ）」という翻訳アプリケーションを紹介しました。右のQRコードから、「VoiceTra（ボイストラ）」のサイトにアクセスすることができます。ぜひご覧ください。



VoiceTra（ボイストラ）

「VoiceTra」をはじめとする翻訳アプリは便利ですが、使い方にちょっとしたコツがあります。上手に翻訳されないときは、次のコツを用いて言い回しを工夫すると効果的です！

一文を短くする 簡単なことばを選ぶ 主語を入れる 端的に伝える

曖昧な表現は使わない 略語は使わない 方言は使わない

そこで「やさしい日本語」を活用しましょう！

「やさしい日本語」を使って利用すると、翻訳アプリでも誤訳を少なくすることにつながります。

翻訳アプリの使い方のコツは、「やさしい日本語」のポイントと大変よく似ています。

本紙3ページに記載した、出入国在留管理庁が公表している「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」によると、「希望する情報発信言語」として「やさしい日本語」を選んだ人が最も多く76%でした。

「やさしい日本語」は、小さな子ども、高齢者、障がいのある方にも有効な情報発信手段と考えられています。

皆さんも、優しい気持ちで「やさしい日本語」を使ってみませんか？



動画で紹介：やさしい日本語ラップ「やさしい せかい」



前回紹介したお役立ちコンテンツはこちら

外国人市民向けに、市ホームページで案内している外国語版のごみの出し方についてご紹介します

ホーム>ふくろいまるごとインターナショナル>外国人の方へ (For foreigners)

>ごみの出し方について

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kokusaika/Forforeigners/9109.html>



●掲載内容

資源ごみ 分別表・収集日程表



・ポルトガル語版
(ブラジルの方)
・英語版
・ベトナム語版

ごみの出し方ガイド



・ポルトガル語版
(ブラジルの方)
・ベトナム語版
・中国語版

【動画】暮らしのガイド08
ゴミの分別方法、ゴミの出し方



・ポルトガル語版
(ブラジルの方)
・ベトナム語版
・中国語版
・英語版

ご紹介した外国語版の「ごみの出し方ガイド」と「ごみ出しカレンダー」は、市役所2階 環境政策課でお渡しできます。 環境政策課 電話：0538-44-3115
メール：kankyou@city.fukuroi.shizuoka.jp

「共生のトビラ」のバックナンバーは、こちらから➡➡➡
(袋井市ホームページ)



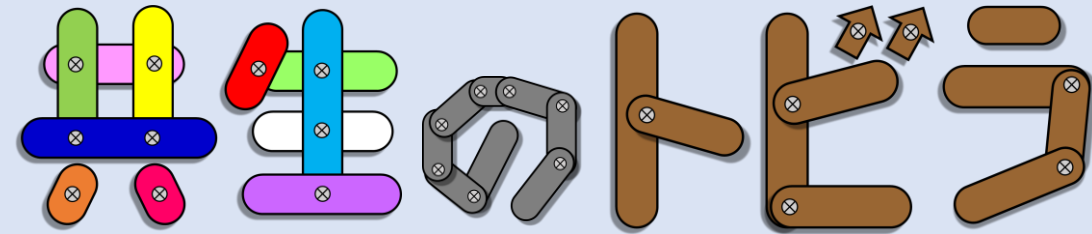
編集
発行

袋井市役所 協働まちづくり課 外国人活躍・共生社会推進室
〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1
電話：0538-44-3138
メール：shimin-kyodo@city.fukuroi.shizuoka.jp

ご意見やリクエストがあれば、お気軽にご連絡ください。



袋井市共生社会推進情報紙



第4号
2022.11

第1回地域共生コミュニティ会議（令和4年7月30日）
身近な異文化を理解する研修とグループワークの様子
(詳しくは3ページに掲載)



多様性を
チカラに変える！

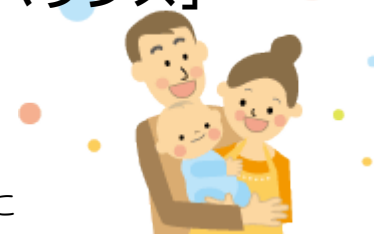
- 男女共同参画セミナーのご案内
- イクメンプロジェクトと女性活躍サイトを紹介します！
- 「地域共生コミュニティ会議」を開催しました
- 地域や事業所へ訪問して講座や制度・取組などの説明を行っています
- 翻訳アプリの上手な使い方

男女共同参画セミナーのご案内

【講演テーマ】

「男性育休を推進するワーク・ライフ・バランス」 ～誰が休んでも回る職場に～

- ・なぜ今、男性の育児休業が必要なのか？
- ・男性育休時代に求められる働き方、職場づくり
- ・変わる男性育休！男女を問わず育児ができる社会へ



★申込開始
11月14日（月）から



申込フォーム



育児・介護休業法が改正され、特に男性の育児休業について制度が大幅に変わりました。

男性が家事・育児（家庭生活）を積極的に行うことは、家庭内はもちろん、職場や地域など社会全体にとって大切なことです。

仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）を考えたり、性別役割分担などからの脱却・考え方を考えるヒントを手に入れてみませんか？

◆日時 令和5年1月14日（土）午後1時30分～3時
（開場：午後1時）

◆会場 ①メロープラザ 多機能ホール（袋井市浅名1027）
②オンライン配信（Zoomウェビナー）

◆講師 松久 晃士さん（株式会社ワーク・ライフバランス執行役員）

【対象】 どなたでも（市民や市内事業所の総務・人事担当者など）

【定員】 ①会場参加…150人（感染症対策として席の間隔を空けます）

②オンライン配信…200人

【託児】 あり（先着10人・要事前申込）

【受講料】 無料（託児希望の方は100円/人）

【申込方法】 住所・氏名・電話番号・メールアドレス・託児利用の有無（子どもの氏名・年齢）を申込フォーム、電話、ファクスでお申し込みください

【申込・問合せ先】 協働まちづくり課 外国人活躍・共生社会推進室

電話：0538-44-3138 ファクス：0538-43-2132

メール：shimin-kyodo@city.fukuroi.shizuoka.jp

イクメンプロジェクトと女性活躍サイトを紹介します！

イクメンとは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことです。イクメンがもっと多くなれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性や家族のあり方が大きく変わっていくはず。そして社会全体も、もっと豊かに成長していくはず。

今、育児にもっと関わりたいという男性が増えています。パートナーである女性側に偏りがちな育児や家事の負担を夫婦で分かち合うことで、女性の出産意欲や継続就業の促進、企業全体の働き方改革にもつながります。積極的に取り組んでいる事例などを紹介していますので、一歩踏み出すヒントを見つけてみませんか。

イクメンプロジェクトサイト
<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>



女性の活躍・両立支援総合サイト
<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/>



「地域共生コミュニティ会議」を開催しました

「地域共生コミュニティ会議」は、多文化共生の推進に向けて開催している研修会として、本年度は地域役員の皆さまが、地域に住む外国人の状況を知り、良好な関係を築くヒントを得るために、“異文化理解”と“コミュニケーション”をテーマに開催しました。

参加者の皆さまに、地域の中から行動を始める、又は考えるきっかけとしていただきました。本年度の内容をポイントにまとめて紹介します。

■第1回「異文化」とは？（令和4年7月30日）

多様化が進む現代社会では、外国人だけでなく異なる人々との共存関係の上でなりたっています。外国人を受け入れる場合だけでなく、異なる価値観を持つ人との関係づくりについて、静岡大学名誉教授の原沢伊都夫氏をお招きして、異文化理解をテーマに開催しました。

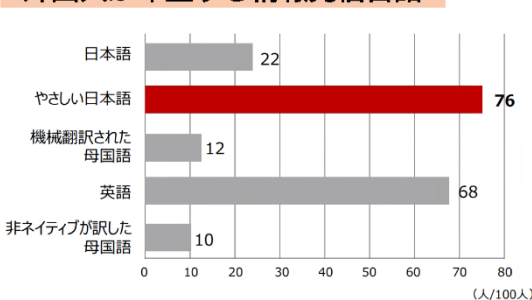
- ・「文化」は、「見える文化」だけでなく、日本でいう「わび」・「さび」や「もったいない精神」など「見えない文化」があり、問題となるのは「見えない文化」の方です。
- ・国以外にも、出身地や家庭環境、職業などが違えば文化は違うもので、異文化というのは誰の周りにもあり、私たちは日頃から異文化に触れながら生活しています。
- ・「常識」と思っていることでも、「相手にとっては常識じゃない」こともよくあること。外国人は異なる文化が多いものの、「異なることがある」のは外国人に限ったことではありません。
- ・相手の文化を理解したり、共通点を見つけることで、異なる価値観を持つ人との関係づくりにつながります。

■第2回「やさしい日本語」とは？（令和4年8月20日）

日本人が抱える外国人とのコミュニケーションとして、言葉の壁があります。そこで、外国人に伝わりやすい日本語として「やさしい日本語」があります。また、現代ではICT技術の発達によりスマートフォンなどを使った翻訳アプリも利用できます。第2回では、「やさしい日本語」と、「やさしい日本語」を活用した翻訳アプリの使い方を紹介しました。

- ・「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えたりし、相手に配慮したわかりやすい日本語で、「易しい」表現を用いて「優しい」気持ちで書き換えた日本語です。
- ・外国人の6割は、日本語が日常生活言語であり、「やさしい日本語」であれば理解度が高まります。
- ・外国人とのコミュニケーションツールとして、スマートフォンを使った翻訳アプリ「VoiceTra（ボイストラ）」などが無料で利用できます。（4ページ）
- ・上手に翻訳されないなというときは、「やさしい日本語」を活用して使用することがポイントです。

外国人が希望する情報発信言語



地域や事業所へ訪問して講座や制度・取組などの説明を行っています

地域共生コミュニティ会議で行った、異文化理解や外国人とのコミュニケーションのほかにも、地域・事業所を訪問した講座等を行っています。ご希望があればお気軽に市協働まちづくり課へご相談ください。（連絡先は4ページ）

●地域や事業所内で多文化共生を推進

外国人とのコミュニケーションをテーマにした講座や「やさしい日本語」、スマートフォンを使った翻訳アプリの使い方の開催のほか、外国人従業員の受入環境の課題解決支援

●男女共同参画を推進したい事業所

女性の活躍の推進や男性の育児休業など、雇用環境の充実、人手不足の解消やサービスの向上など企業の活性化につながります。

国が進める制度や事業所に求められる取組など、事業所に訪問してご説明いたします。

●外国人従業員に各種講座の確認

外国人従業員へ生活に関わるごみの出し方、税金、防災など事業所内の研修等に、市の職員を派遣してお話しいたします。